

第3回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1 開催日時 令和4年8月10日(水) 午前10時から午前11時まで

2 開催場所 Web会議

3 出席者 委員5名

石原委員長、後副委員長、酒井委員、塩瀬委員、高津委員
豊橋市9名

財務部

財政課 芳賀課長、大竹課長補佐、小酒井主査、魚住主査

総務部 加藤総務部長

行政課 小林課長、鈴木主査、土屋、高橋

4 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第3回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき、御礼申し上げます。本日の委員会は11時までを予定しております。 なお、朽名財務部長及び渡部行政課長補佐は、都合により本日欠席させていただきます。 さて、今回の外部検証委員会では、「行財政改革プラン2021-2025取組状況報告書」に対する外部評価をとりまとめることとなります。 それでは、石原委員長に進行をお願いしたいと思います。 委員長、よろしくお願いいたします。
石原委員長	それでは、ただいまから議事に入ります。なお、事務局より説明がありましたが、今回、「行財政改革プラン2021-2025取組状況報告書」に対する外部評価をとりまとめることとなります。まずは事務局より、外部評価の事務局案の説明をお願いします。
事務局 (財政課・行政課)	《外部評価の事務局案について説明》
石原委員長	それでは、本日は最終回ということ踏まえて、外部検証委員会として意見をまとめたいと思います。 まず、高津委員の広報のデジタル化について、事務局から変更案が示されましたがいかがでしょうか。
高津委員	変更後の案の方が私の言いたいことが強調されています

発言者	要 旨
	ので、こちらの案でお願いします。
石原委員長	それでは、案のとおり変更させていただきたいと思いません。
酒井委員	外部評価案については、特に意見はありません。 私が記入させてもらった意見の中でも特に気になっているのは、ふるさと寄附についてです。寄附の流入についての目標はしっかり設定されていますが、流出金額が見えません。流出についても意識することが、目標を立てる上でも大事だと思います。
石原委員長	ふるさと寄附について、流出の影響はどのくらいですか。
事務局 (財政課長)	流出が約8億円、流入が約8千万円であり、大きく差が開いています。流入を増やすことは、サイト数を増やしたり、返礼品を見直したりすることでコントロール可能ですが、流出をコントロールすることは難しいと考えます。
石原委員長	国の制度によるものですので流出をコントロールすることは難しいです。また、流入の8千万円は諸経費を引くと実際は半額程度となってしまう厳しい状況です。
後副委員長	総合計画や行政評価との連携は難しい問題であり、徐々に進めていくしかないと思いますが、総合計画や行政評価を担当する企画部、行財政改革プランを担当する総務部及び財務部は、市役所の中でも中枢を担う部であり、かなり緊密に連携していかないとシステムは機能していかないものだと考えます。総合計画及び行政評価の進捗管理と行財政改革について、現在、意見交換や協議はどの程度していますか。
事務局 (行政課長)	本市では、第6次総合計画の基本理念や目指すまちの姿を念頭に、次年度以降に予定する主要な事業について市長以下で議論し、市としての方向性を決定するサマーレビューを実施しています。総合計画を所管する企画部長、行財政改革プランを所管する総務部長及び財務部長がサマーレビューの意思決定の場に参加し、総合計画及び行財政改革プランの推進の両面を踏まえて、各事業の方針を議論しています。 また、翌年度予算の市長ヒアリング時にも総務部長、財務部長、企画部長は出席し、総合計画及び行財政改革プランの推進の両面を踏まえて議論をしています。 このように、関係する部局長が連携し議論を積み重ねるこ

発言者	要 旨
	とにより、総合計画と行財政改革プランの両立を目指してまいります。
後副委員長	ロジックモデルは予算査定で使われるとのことでしたが、現在、担当として関わっているのは財務部ですか。
事務局 (財政課長)	ロジックモデルの作成は予算要求する担当課ですが、活用しているのは、現時点で財政課のみです。
後副委員長	行政評価を見ると、成果指標を設定して評価をしています。成果指標と言っても、アウトプット指標、短期成果指標、長期成果指標とレベルの違いがありますが、この違いはロジックモデルがないと区別できません。現状の行政評価のシートを見ると、ロジックモデルを活用せずに成果指標を設定しているように見えます。アウトプット指標が上手くいっていることと長期成果が出ていることは、別次元の話ですが、現状、横並びとなっています。ロジックモデルを前提とすれば、どの段階の指標が上手くいっているかを示すこととなり、指標の意味が明確になります。そこで、次のステップとして、行政評価の成果指標の整理にロジックモデルを活用することを検討してはどうでしょうか。
塩瀬委員	一般の方が読んだときに、理解が難しい言葉がありました。横文字が多いので、平坦な言葉に直す工夫も必要であると感じました。
石原委員長	27ページに「シビックプライド」という言葉がありますが、わかりやすい日本語で言うとうなるのでしょうか。
高津委員	「市民としての誇り」であり、それは、郷土愛をもつことに至る大きな要素だと思います。
石原委員長	一般の方にもわかりやすいよう括弧書きで追記してはどうでしょうか。
高津委員	<p>良いと思います。</p> <p>総合計画と行財政改革プランとの関係性は重要な問題だと考えます。総合計画を所管する企画部と、行財政改革プランを所管する総務部及び財務部の連携や、市長のリーダーシップが、2つの計画を両立させバランスを取っていくのだと考えます。</p> <p>また、職能による戦略的な人材育成についての意見がありますが、他市の事例を参考に豊橋市でも実施してほしいと思</p>

発言者	要 旨
	<p>いました。一方で、職員の価値観の共有についても述べられていますが、先日行われた市制施行日記念式典のように、市民との価値観の共有をしながら職員間での価値観の共有もしていく場というのは非常に重要であると感じました。</p> <p>最後に、広報だけではなく広聴の側面も考えていくということは、今後のキーワードとなってくると思います。広聴は、市民との関係性を作り上げ、市民が当事者意識をもって市政に参加する上で重要なウエイトを占めるため、今一度着眼していくとよいと思いました。</p>
石原委員長	<p>戦略的職務について、広報を含めたDX、土木職等の技術職は、今後の核になっていくと思います。</p> <p>それでは最後に、後副委員長にご意見を集約していただきたいと思います。</p>
後副委員長	<p>先ほど高津委員も言われたように、市長の指導力をどう発揮するかがポイントであり、指導力を発揮しやすいような仕組みづくりが必要です。例えば、予算編成に関して、各部局長は査定権を持つことによって、事業の成果への責任も持つこととなります。市長が部長に対して、予算編成について裁量の余地を与えつつ、事業の成果を問う、といったかたちで指導力を持つということも考えられます。総合計画や行政評価と連動させて行財政改革を進めていく中に、市長の役割も上手く組み込んでいくことを期待します。</p>
石原委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは本日まとめたものを外部検証委員会としての意見としたいと思います。念の為、最後の確認を私に一任いただき、事務局と調整させていただければと思いますが、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>今後について事務局より連絡がありますので、進行をお返しします。</p>
事務局 (小林課長)	<p>活発なご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>本日いただきましたご意見をもとに報告書を作成し、8月下旬に行財政改革推進本部にて決定し、9月頃に市議会へ報告後、ホームページで市民の皆様にご公表をいたします。</p> <p>今年度の外部検証委員会は今回で終わりとなります。</p> <p>ありがとうございました。</p>